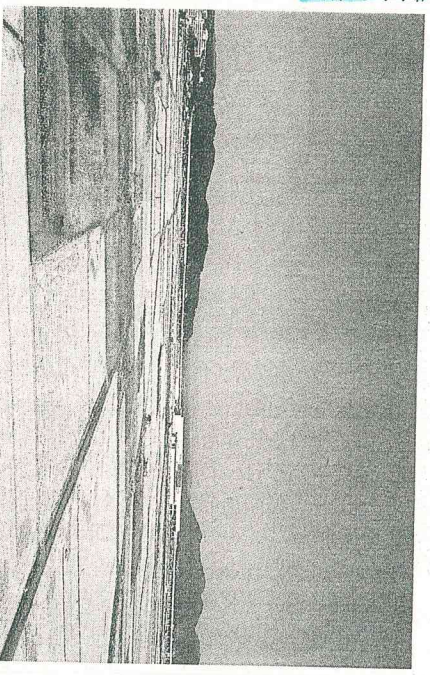


2017. 2. 3 熊本新聞

「条里制」跡、井手、石積み堤防…

## 菊池川流域米作り 日本遺産に再申請

菊池市、山鹿市、和水町、玉名市



古代の条里制跡の水田の風景が広がるJR新玉名駅周辺  
＝玉名市

立たせた。申請は昨年  
に続き2度目。  
米の豊かさが古墳文  
化や中世の菊池一族の  
繁栄を生み、江戸期か  
ら現代まで日本有数の  
米どころである点にも  
触れている。  
文化庁は東京五輪が  
開かれる2020年ま  
では100件を認定す  
る方針。現時点の認定  
37件のうち、熊本から  
は人吉球磨地域10市町  
村の「相良70年が  
生んだ保守と進取の文  
化」のみ。第3弾は、  
図としてアピルす  
申請約70件の中から20  
件程度が認定される見  
込み。(瀬崎知博)

地域に残る有形や無  
形の文化財を文化庁が  
認定する「日本遺産」  
の第3弾公募に対し、

山鹿市、玉名市、菊池  
市、和水町は「菊池川  
流域で弥生時代から続

く2千年の米作り」を  
テーマに申請した。県  
内からは唯一の申請  
で、認定の可否は4月  
に判明する見通し。

認定で求められる  
「独自の物語性」とし  
て、古代の耕地の区画  
法である「条里制」跡  
の風景のほか、棚田を  
潤す江戸期からの井手  
(用水路)、干拓のた  
めに明治期に築かれた